

★きづっこ新聞★

vol.35 「犬・猫のバイタルサインについて」

担当 VT 田中

Q.そもそもバイタルサインって、何？

A.体温、心拍数、呼吸数、血圧などの

生命の基本的な徴候(サイン)のことです。



今回は、ぜひ飼い主様に、お家の子のバイタルサインをチェックできるように、どうやって行うのか？方法や、正常値についてご紹介していこうと思います。まず、様々な正常値を知るためには、

お家の子が安静にしている時に測定するべし!!です(^^)

もし急に調子が悪くなったり、様子がおかしい時には、事前に測定しておいた時と比べて、大幅に違うかどうか？すぐに判断できるのです。

Check point① 体温

動物病院でもよく見かける、直腸体温計(右の写真)はお尻から体温計を入れて、直腸の温度を測っています。その他に、耳で測る体温計もあります。

先端は腸を傷つけないように、グニャグニャと曲がります(°°)



動物用の体温計をお家に持ってらっしゃらない場合が多いかと思いますが、そんな方にはワンちゃん・ネコちゃんのお腹や内股を触って体温を感じてみてください。いつもと様子が違う時に、普段と比べて体が冷たく又は熱く感じるか？触って確かめましょう。

平熱 38.0~39.0℃

Check point② 心拍数

心拍数を測るには、脈を見つけましょう。動物病院で測定する時は、聴診器を使うことが多いです。脈が分かりやすい場所を、2か所ご紹介します(^0^)/

■心臓の上

前足のヒジを胸の方に曲げる。

この時、ヒジの下がちょうど心臓の位置になります。



■股動脈の上

後足の付け根の位置にあります。

2本の指でその辺りを触ると、トクトクと脈を感じる部分を見つけられると思います。



正常心拍数 80~120回/分

※1分間の心拍数の求め方

15秒間で何回脈を打つか数える → **×4倍すると** → 1分間に○回と求められる

回数と共にリズムや強さにも気にかけてみよう(^^)!



Check point③ 呼吸数

胸が上下に動く回数を数えましょう。

正常呼吸数 15~40回/分

※上記の心拍数の求め方を参考にして測定すればOK!

姿勢やどのように呼吸しているか？も重要です(*'ω'*)

△通常、ネコちゃんはワンちゃんのように口を開けて呼吸することはありません。続くようなら、緊急事態かも知れませんが、動物病院へご来院をおすすめします(*_*)



Check point④ 粘膜

粘膜は、歯茎・唇や頬の内側にあります。

粘膜の色を見て、体に十分な酸素が行き届いているか？判断できます。

正常な粘膜の色 **明るいピンク色**



このような色の時は異常です

紫

- ・チアノーゼ(酸素不足)
- ・中毒 など

赤

- ・充血
- ・敗血症 など

白

- ・貧血

黄

- ・黄疸

チャウチャウ



品種によっては
もともと青紫のような色の子もいま
す。その場合は、下まぶたの内側
でチェックしましょう！

〈あとがき〉

以上で、お家でも実践できるバイタルサインについて
ご紹介しました。

もしもの時に備えて、日頃からお家の子の状態を知っておく
ことは大切ですね (*^_^*)

何かあるときに、このきづっこ新聞で紹介したことが少しでも
お役に立てれば…と思います。



やってみよう！ CRT テスト

CRTとは…もうさいけっかんさいじゅうまんじかん毛細血管再充満時間のことを言います。

今、その子の循環状態は正常かどうか確認できるテストです。



- 【手順】
1. 歯茎を指で押す
 2. 押ししている指を離すと、歯茎の色は色
から**すぐにピンク色**に戻るかどうか見る。

CRTの正常 約2秒以内でピンク色に戻る

